

(6) ポジショナ

ポジショナは、マイティシリンダにストローク設定用位置リミットスイッチやストローク検出用にポテンショメータを内蔵したユニットの総称です。

(6) -1 位置リミットスイッチ

位置リミットスイッチを標準機は4点まで内蔵できます。運転・停止・位置表示など計4点の信号確認用としてご使用下さい。

位置リミットスイッチ（リミットスイッチ作動カム）は、図のように手前側（反ピストン側）よりLS11、12、13、14の順になっています。

ご使用機器に連結し、ストローク片端まで手動またはインテグにて移動させて所定のストロークで位置リミットスイッチが作動するよう順々にカムを2本のセットネジにて、確実に固定して下さい。

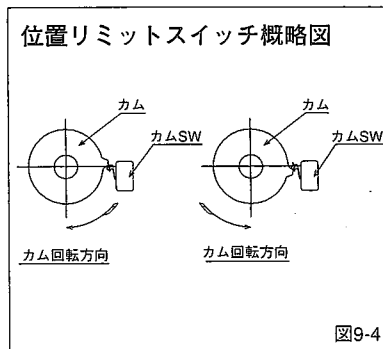
このとき、ピストンロッド（先端金具）の進行方向と、カムの回転方向にご注意下さい。セット後は、設定位置で確実に位置リミットスイッチが作動しているかどうかをご確認下さい。

(6) -2 ポテンショメータ

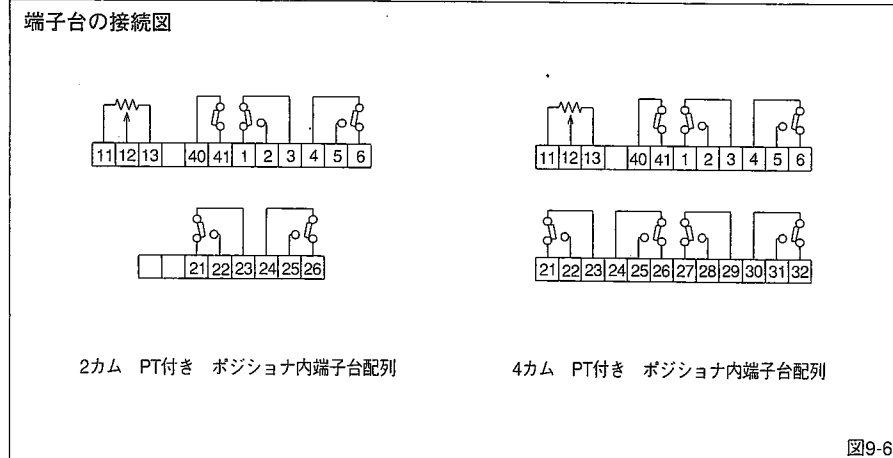
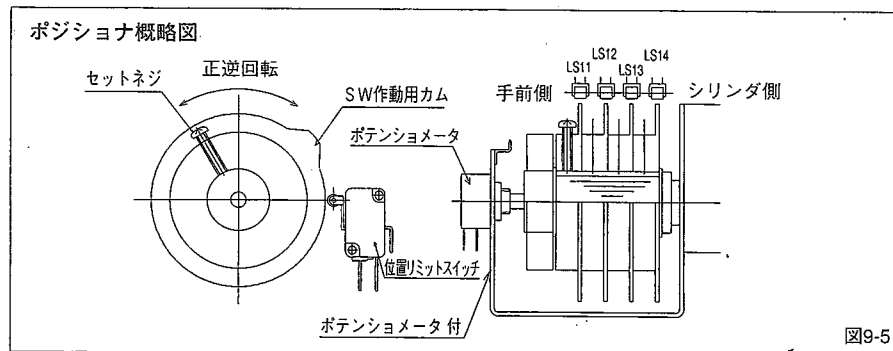
ポテンショメータは呼称ストロークにおいて有効角度内で増減する抵抗器です。抵抗値をR/1変換器などで、ご希望の信号に変換して開度計などでマイティシリンダの動きを、常時確認する事が出来ます。(0~1KΩ)

出荷時には、ポテンションメータはセットしておりますので、ご使用機器との連結の際に、ピストンロッド（先端金具）を回転させないで下さい。

回転させますと、ポテンショメータの位相がずれてしまい、正常に作動しない場合があります。



- ご使用機器との連結後、使用ストローク範囲内で正常に作動しているか、ご確認ください。
- ポテンショメータの交換時等に調整の必要がある場合には、ポテンショメータ設定用止めネジを緩めポテンショメータ軸を回し調整して下さい。
- 設定用止めネジ固定の際は、ネジに緩み防止剤を塗布して固定して下さい。



- 本図は2カムと4カムのポテンショメータ（PT）付きの場合です。
- ポテンショメータ無しの場合は、端子No.11、12、13のポテンションがありません。
- MCPDシリーズでの端子台位置は別途専用の図面をご参照下さい。

(6) -3 安全リミットスイッチ（オプション）

安全リミットスイッチは、手動操作をする際、マイティシリンダの起動による事故発生を防止するためのリミットスイッチです。

専用ハンドルを手動軸に挿入しようとする時、リミットスイッチが作動する構造